

社会資本総合整備計画 事後評価シート

小倉地区の中心市街地の魅力づくり、にぎわい再生

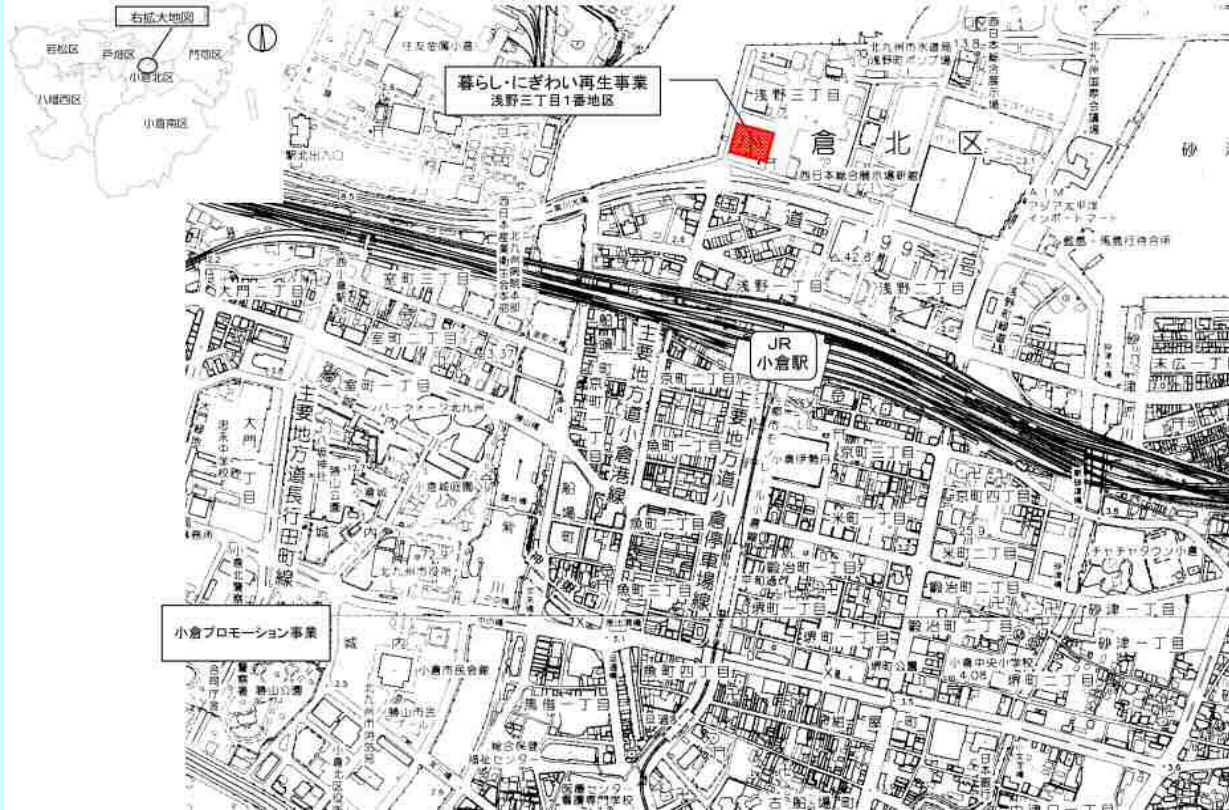
平成26年3月

福岡県北九州市

様式2-2 計画の概要

社会資本総合整備計画(小倉地区の中心市街地の魅力づくり、にぎわい再生)の成果概要

計画の目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
小倉地区は、特色ある歴史・文化・伝統が育まれた北九州市の顔であり、古くから交通の要衝という地の利を活かして、商業・文化・都市基盤等の多様な機能が集積し発展してきた。しかしながら、近年の消費者ニーズの多様化や、公共交通機関利用者の減少などにより、都心への来訪者数が減少し、これに伴い事業所や従業者数も減少しており、中心市街地内の賑わい、魅力が低下している。そのため、中心市街地内の低未利用な土地や空きビル等を活用し、北九州市の都心としてふさわしい都市機能の集積を促進し、まちの魅力づくりや昼間人口の拡大によるにぎわいの向上を図る。	歩行者通行量	単位：人/日	11,100	H21	11,700	H24	12,600	H24
	事業所従業者	単位：人	3,700	H21	3,815	H24	5,600	H24
	居住人口	単位：人	196	H21	576	H24	316	H24



浅野三丁目1番地区暮らし・にぎわい再生事業



小倉都心プロモーション事業

まちの課題の変化	<p>① 共同住宅の整備などにより夜間人口の拡大が図られているものの、事業休止の影響により効果は限定的なものとなっており、一層の夜間人口拡大を推進していく必要がある。</p> <p>② にぎわい向上に向けた主要事業「船場町3番地区暮らし・にぎわい再生事業」が休止となっているため、さらなるにぎわい向上の余地が残されている。</p> <p>③ 福祉施設等整備にともなう雇用創出により、にぎわい向上の基礎となる昼間人口の拡大が図られてきているが、さらなる昼間人口拡大を推進していく必要がある。</p> <p>④ 小倉の魅力のPRや、中心市街地活性化基本計画の取り組みなどにより、歩行者通行量が増加しているが、さらなるにぎわい向上を図っていく必要がある。</p>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存ストックの活用による雇用創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部内の低未利用地や空きビル等の既存ストックを有効活用し、新たな産業の育成や雇用の場の創出を推進することで、昼間人口のさらなる拡大を図る。 ● 継続的な魅力のPRやイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小倉のまちの魅力のPRや、魅力向上に向けたイベント等を継続的に実施していくことで、来訪者数の増加や回遊促進を図り、さらなるにぎわいの向上につなげる。 ● にぎわいや回遊等の核となる拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな集客核・回遊拠点等の形成に向け、休止となった事業の再開に向けた働きかけや、市街地再開発事業等の推進を行い、官民一体となってにぎわいの向上や回遊促進、さらには都心居住の推進を図っていく。